

ティフ・ブシアを活用した 水田畦畔管理の省力化

平成21年5月26日

JA全農やまぐち

営農推進室

目次

1. 水田畦畔の現状
2. ティフ・ブレアの活用
3. ティフ・ブレア定植手順
4. ティフ・ブレアの取組み

1. 水田畦畔の現状

(1) 水田畦畔での問題点

- 既存畦畔では、年4～5回程度の草刈作業が必要であり、労働負荷が非常に大きい。また、傾斜地が多いため危険も伴う。放棄してしまうと雑草化し、病害虫の寄生場所となりやすい。



■新規基盤整備畦畔では、表土の流亡や畦畔の崩壊が懸念される。そして、数年後には草刈作業が大変である。



■畦畔面積率の全国上位10県の中に、中国地域の6県が入っている。

畦畔面積率の高い上位10県（2003）

順位	県名	耕地面積 (ha)	畦畔面積 (ha)	率 (%)
1	山口	51,900	5,180	10.0
2	長野	115,300	10,900	9.5
3	岡山	71,200	6,700	9.4
4	広島	61,100	5,620	9.2
5	島根	40,100	3,480	8.7
6	兵庫	79,000	6,750	8.5
7	鳥取	36,300	2,930	8.1
8	奈良	23,600	1,860	7.9
9	香川	33,500	2,590	7.7
10	長崎	51,500	3,930	7.6
	全国			4.2

（注）農林水産省統計情報データベースより

2. ティフ・ブレアの活用

(1) ティフ・ブレア(タキイ)の品種特性

- 草丈は10～25cmと低い。
- 根は太くて深く伸び、地上ほふく茎が強力に発生し、土壌保持性が良好である。
- 耐寒性が非常に強い。(タキイの「ティフブレア」の場合は、 -23.5°C の低温まで耐えた事例がある。)
- 春から晩秋にかけて生育し、冬期は枯れ休眠期に入るが、株は越冬し翌春には再び萌芽し、雑草を抑制する。
- 永続性に優れ、畦畔定着後10年以上生育する。
- 土壌の適応性が広く、PH4.2～8.5で生育できる。

(2) ティフ・ブレアの栽培方法

■ 直播

⇒ 天候・土壌・立地条件に影響されやすい

■ 苗移植(60日育苗)

⇒ 確実性が高い

3. ティフ・ブレア定植手順

■ 60日以上育苗 288株(12株×24株)



■根がしっかりと形成されているので、まとめて抜き取れる。定植前にはトレーに灌水をする。



■ 苗カゴから取り出し効率的に定植する。

活着後(概ね1週間)、化成肥料(10~20kg/10a程度)を施肥する。



■ 植付け専用穴あけ器具で穴をあける。



■ 植穴にセル苗を差し込む。



■株元が露出しないように、深植えをする。



- 土壌が湿った状態が活着しやすい。
雨降り後、または畦畔に灌水することで活着しやすくなる。



■ 状況に応じて活着水も必要。



■定植後、高温干ばつが続く場合は、活着するまで適宜灌水も必要。



■定植後約2ヶ月ぐらい経過すると、ほふく茎がたくさん出て地上を覆う。



■一年間は、株間の雑草管理が大変ですが、がんばって美しい畦畔をめざしましょう。



☆ティフ・ブレア定植のポイント

①除草

定植前の除草の徹底
生育途中の除草管理(抜き取り、高刈り)

②灌水

定植前後の灌水

③施肥

活着後(概ね1週間)に追肥(1~2kg/100m²)
生育状況を見ながら、追肥を繰り返す

☆繁茂後の保守管理について

- 必要に応じて一年に一回、5cm～10cm程度の高さで刈り取る。(その際、草刈機の草刈歯は、紐のものを使用しないこと。)
- 排水路等に伸びたほふく茎(ランナー)は取り除く。
- ランナーが多く発生する場合は、除草剤を散布する。
- ティフ・ブレア定植後の畦焼きは行わないこと。

4. ティフ・ブレアの取組み

繁茂後の優良事例（夏）



繁茂後の優良事例（冬）



■平成20年度 取組状況

(1)ハウス周り



(2) 水田畦畔(中山間)



(3) 茶園(6月12日定植 平成20年9月)



(4) 茶園(平成20年6月12日定植 平成21年5月18日)



□平成19年度実証圃



□JAグリーンコアやまぐち展示
(1)6月3日定植



(2)7月4日



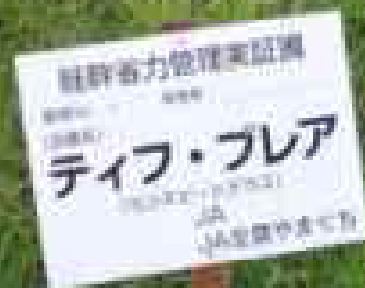
(3)8月6日



(4)9月2日



ティフ・ブレア植えて草刈軽減！！



お問い合わせ先

JAまたは、JA全農やまぐち 営農推進室へ